



ゆかりの寺シリーズ

その6

伊達政宗

ゆかりの寺

「瑞巌寺（臨濟宗妙心寺派）」



伊達政宗が仙台藩主になったのち、荒廃していた境内を復興した寺院。正式名称を「松島青龍山瑞巌円福禪寺」と言い、古くは「松島寺」と呼ばれていましたが、伊達政宗が復興して以降は瑞巌寺の名で親しまれるようになりました。

瑞巌寺の歴史は古く、創建は平安時代にまで遡ります。

江戸時代初期に入ると、伊達政宗によって城下町の整備及び神社・仏閣の復興と造営が行なわれました。

1608年（慶長13年）、瑞巌寺に改称。そして、翌年の1609年（慶長14年）に竣工して以降、伊達家の厚い庇護を受けてきた瑞巌寺は、奥州一の格式を誇る寺院として、広く知られるようになったのです。

現存の本堂、御成玄関、庫裡と回廊は、国宝に指定されており、その他の門や塀など、伊達政宗が再建した当時の建造物のほとんどが重要文化財に指定されています。

瑞巌寺における、伊達政宗ファンの歴女必見のスポットは、本堂の真裏付近にある梅の木。この梅の木は、県指定天然記念物「臥龍梅」。1609年（慶長14年）の竣工時に、伊達政宗が朝鮮出兵の際に持ち帰って手植えしたと言われる梅の木です。



瑞巌寺本堂



瑞巌寺庫裡



臥龍梅



御成玄関

本堂内の換気を徹底し、参拝者にはマスク着用及びアルコール消毒液の使用をお願い致します。

講師 渡邊 幸司 師（広島市佐伯区五日市町光雲寺）

四月十六日（土）午前九時～午前十一時半
午前九時半～朝席法話
法要終了

「永代経法要」（善教寺本堂）
門信徒祥月命日法要（善教寺本堂）



三月十六日（水）午後一時半～
*毎月十六日に本堂において勤めております。

*佛教婦人会主催法要
*仏婦会員追悼法要・仏婦総会開催

講師 宮武 大悟 師（広島市西区観音本町西壹寺）

久留島 法曉 師（広島市安佐北区落合圓正寺）

午前九時～午前十一時半 法要終了
午前九時半～朝席法話
午前十時～午前十一時半 法要終了
午前九時半～総会

三月四日（金）午後一時半～午後二時～
午前九時～午前九時半 法要終了

午後二時～昼席法話
午前九時半～朝席法話
午前九時半～総会

「仏教婦人会報恩講」（善教寺本堂）



ご縁に感謝
善教寺ホームページ『縁』 <http://otera.or.jp/>
メール zenkyo@otera.or.jp

